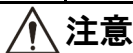


安全上の注意



警告

- 取付工事のときは必ず電源を切り、活線作業はしないでください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
- 段調光アダプタの構造を変更したり、ケースを開けたりしないでください。故障の原因となるばかりでなく、漏電、感電、火災の原因となります。
- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
- 電線を接続する場合、ゆるみ、抜けないように確実に接続してください。接続が不完全ですと、漏電、地絡、感電、接続部の焼損、火災の原因となります。
- 段調光アダプタは、必ず適合するLEDモジュール、直流電源装置と組合せて使用してください。LEDモジュールの破損や、短寿命、あるいは過電流による火災及び段調光アダプタや直流電源装置の短寿命の原因となります。(適合直流電源装置:ELD2-2416P、ELD2-2435FD、ELD2475F、ELD2-24240FD)
- 段調光アダプタの出力側をLEDモジュールに接続しないままで放置しないでください。施工途中でやむを得ず出力側にLEDモジュールを接続しない場合、切断した電線を1本1本に分けて確実に絶縁処理をしてください。一括して絶縁処理をすると電線切断面で放電が起こり、電線が焼損し、火災の原因となります。
- 出力配線に中間ジョイントとして、指定のないコンセント等を使用しないでください。接続不良、定格間違いにより火災の原因となります。
- 紙や布などを段調光アダプタの上に置いたり、かぶせたりしないでください。段調光アダプタの温度が高くなり、紙や布が焦げて火災の原因となります。
- 段調光設定スイッチを操作するとき以外は、段調光アダプタの隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。スイッチを操作する場合は、必ず接続された直流電源装置の電源を切ってから操作してください。故障、感電、火災の原因となります。
- 段調光設定スイッチを設定した後は、必ず付属の目隠しシールを使い、穴をふさいでください。故障、感電、火災の原因となります。
- 電線、あるいは絶縁処理部に刃物などによるキズをつけないでください。キズがついた状態で使用すると、絶縁破壊により漏電、感電、火災の原因となります。
- 段調光アダプタには指定電力(W)を超えるLEDモジュールは接続しないでください。過電流による火災及び段調光アダプタの短寿命の原因となります。



注意

- DC電源入力、DC24V±5%以内で使用してください。LEDモジュールの短寿命、不点灯、チラツキ、段調光アダプタの故障、火災の原因となることがあります。
- 長期間使用しない場合は、部屋の湿気により絶縁が悪くなることがありますので、部屋の換気をおこなうか定期的に通電してください。絶縁が悪くなりますと漏電、感電の原因となることがあります。
- 結線は、段調光アダプタに表示してある接続図とおりにこなしてください。間違えて接続すると不点灯、段調光アダプタや直流電源装置の焼損の原因となることがあります。
- 誤って落下させた段調光アダプタは使用しないでください。故障の原因となるばかりでなく発煙、発火の原因となることがあります。
- 屋外では使用しないでください。絶縁低下、漏電、感電、短寿命の原因となることがあります。
- 露の付着や水分を避けてください。絶縁低下、漏電、感電、短寿命の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。発煙、発火の原因となることがあります。
- 腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。
- 段調光アダプタの入力側リード線と出力側リード線への接続には、専用延長コードを使用してください。漏電、感電、地絡の原因となることがあります。
- 電線を段調光アダプタの端部に触れないよう余裕をもたせてください。ケースの端部で絶縁被覆を傷つけ、絶縁破壊により漏電、感電の原因となることがあります。
- 電線の接続点や段調光アダプタの口出線には張力を加えないでください。不点灯、漏電、感電、火災の原因となることがあります。
- 口出線を持って段調光アダプタを運搬しないでください。接続部での断線、絶縁破壊、接触不良による発熱により、不点灯、漏電、感電、火災の原因となることがあります。
- 8～10年経過した段調光アダプタは、絶縁性能が低下していますので使用しないでください。そのまま使用すると絶縁劣化が進行し、異常過熱、焼損、発煙、発火の原因となることがあります。段調光アダプタの交換をおすすめします。
- その他、工事上の制約がありますので、段調光アダプタの取り付けに際しては「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。

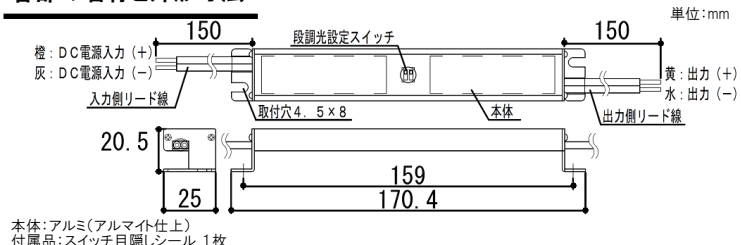
ご使用上の注意

- 周囲温度は 5℃～40℃の範囲で使用してください。周囲温度が高い場合や他の熱源から影響を受ける場合などには、段調光アダプタが短寿命となったり、内蔵している保護機能が動作したりします。また、次の事項を守ってください。
- ① 段調光アダプタや直流電源装置を2台以上並べて設置する場合には、相互の熱の影響を受けますので50mm以上間隔を空けて通風に注意してください。
- ② 箱の中に収納する場合は、容積を十分大きくとり、かつ換気をして段調光アダプタが過熱しないように注意してください。
- ③ 光源の上部などに取り付けの場合は、光源の熱影響を受けますので熱遮蔽の仕切りをするともに十分な間隔をとってください。
- ④ 狭く周囲に空気の対流がなく熱がこもりやすい場所では、強制換気などをおこなって段調光アダプタが過熱しないように注意してください。
- ⑤ 周囲温度が低い場合、正常動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 接続する電線は取扱説明書にしたがってください。
- 直流電源装置とLEDモジュールとの間の配線の長さは、カタログまたは取扱説明書にしたがってください。特性が変化したり、異常過熱の原因となることがあります。
- 出力配線を間違えて接続した場合や複数台の段調光アダプタや直流電源装置からの配線で組合せを誤って使用した場合、段調光アダプタの故障、不点灯の原因となることがあります。
- 出力側配線を短絡させないでください。故障の原因となることがあります。
- 施工方法、使用方法によっては、電波障害が生じることがありますので次の事項を守ってください。
- ① 段調光アダプタの配線と通信ケーブルなどは、近接しないように施工してください。
- ② 段調光アダプタおよびその配線と電子機器とをあまり近づけないようにしてください。
- ③ 段調光アダプタを使用したLEDモジュールに接近してワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に動作しない場合があります。また、赤外線リモコン機器や盗難防止センサーを近接して使用しますと機器が正常に動作しない場合があります。
- 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じたり、段調光アダプタに若干のうなり(音)を生じる場合があります。
- ラジオなどの音響機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときは段調光アダプタから1m以上離して使用してください。
- 電源を投入しても点灯までに1～2秒かかることがあります。
- 調光器との併用はできません。
- 段調光アダプタを使用する場合は、音が発生する場合があります。学校、図書館、病院、事務室など静かさを要求される場所、体育館、講堂など多数の段調光アダプタを取り付ける場合は、騒音に配慮して施工してください。
- 漏電遮断器の種類によって直流電源装置からの高周波の漏れ電流の影響により漏電遮断器が動作する場合があります。この場合には高周波対応型漏電遮断器を使用してください。
- 通電したままLEDモジュールを脱着しないでください。段調光アダプタ、LEDモジュール故障の原因となることがあります。

保守・点検

- 照明器具および関連部品(直流電源装置、ランプ、モジュール含む)には寿命があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
- ※使用条件は周囲温度 30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1 解説による)
- ※LED光源は寿命がきてても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社ホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せず長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

各部の名称と外形寸法



定格

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

DC電源入力	DC24V±5% 10Aまで
出力	DC24V 10Aまで
調光レベル	10%、30%、60%、100%
質量	0.06kg
使用環境	5～40℃ 20～80%RH ※結露なきこと

機能

本製品は“適合する直流電源装置”と“LEDモジュール”の間に設置することで100%、60%、30%、10%の明るさ(段調光)にすることができます。

※適合LEDモジュールは、必ず取扱説明書で記載した条件(LEDモジュール入力電力の合計、配線長さ等)で使用してください。本製品は日常的に行う調光を目的としたものではありません。頻繁に調光を行う場合は、調光用直流電源装置を使用してください。

1. 取り付け

- ・取付ねじ(別途必要)等で取付穴を利用して確実に固定してください。
- ・直流電源装置、LEDモジュールの取り付けは、各製品の取扱説明書にしたがってください。

取付方法



注意

段調光アダプタは直流電源装置に近接させないでください。(故障の原因)

2. 結線

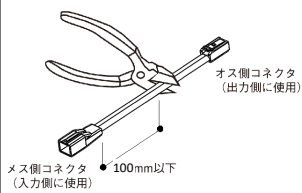
【注意】+、-の極性と入力側・出力側は間違えないように接続してください。

間違えて結線した場合、段調光アダプタ・直流電源装置・LEDモジュールが故障します。

●直流電源装置ELD2-2416P、ELD2-2435FDを使用する場合

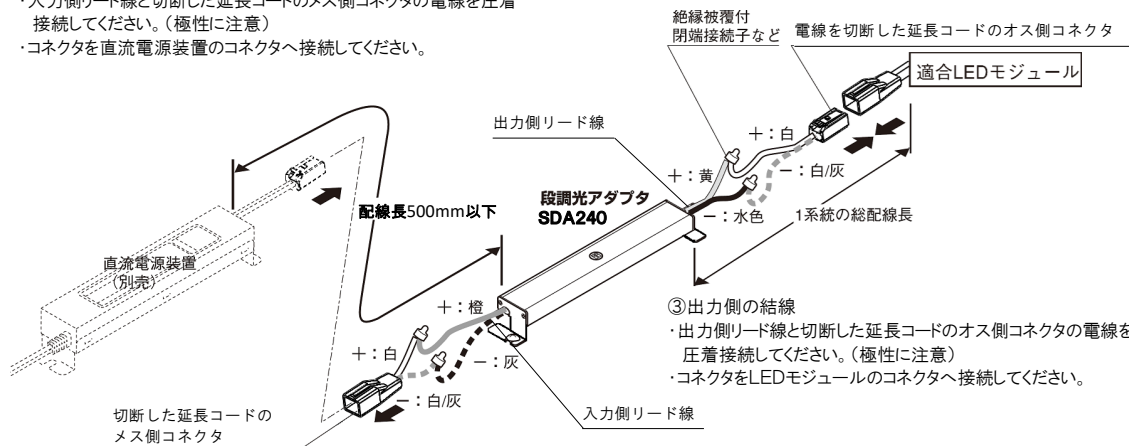
①延長コードの切断

- ・指定の延長コードの電線をメス側から100mm以下で切断してください。



②入力側の結線

- ・入力側リード線と切断した延長コードのメス側コネクタの電線を圧着接続してください。(極性に注意)
- ・コネクタを直流電源装置のコネクタへ接続してください。



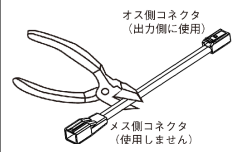
③出力側の結線

- ・出力側リード線と切断した延長コードのオス側コネクタの電線を圧着接続してください。(極性に注意)
- ・コネクタをLEDモジュールのコネクタへ接続してください。

●直流電源装置ELD2475F、ELD2-24240FDを使用する場合

①延長コードの切断

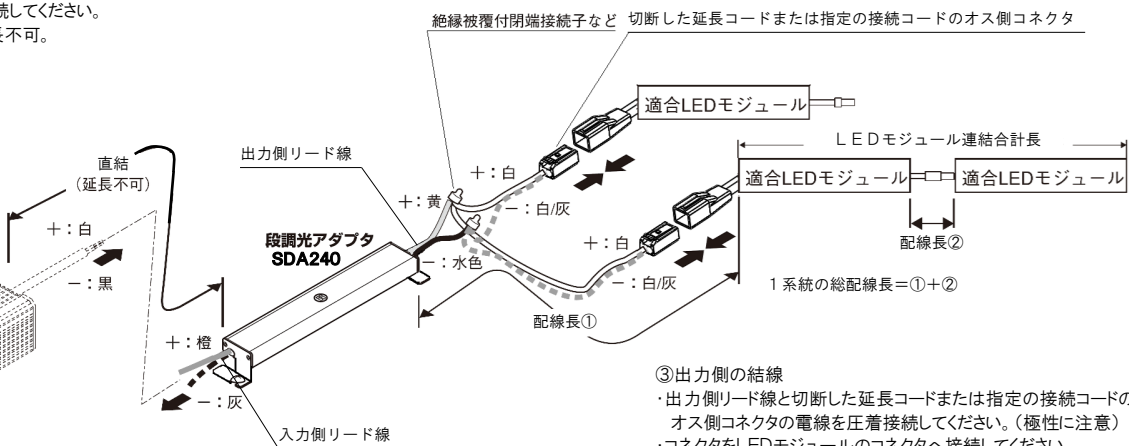
- (接続コード使用時は不要)
- ・指定の延長コードの電線をメス側コネクタ部で切断してください。



②入力側の結線

- ・入力側リード線と直流電源装置の出力側リード線を延長せずに圧着接続してください。

【注意】延長不可。



③出力側の結線

- ・出力側リード線と切断した延長コードまたは指定の接続コードのオス側コネクタの電線を圧着接続してください。(極性に注意)
- ・コネクタをLEDモジュールのコネクタへ接続してください。

■適合LEDモジュール、適合直流電源装置

LEDモジュール形式※1 (別売)	直流電源装置(別売)の最大使用W数※2				1系統の 総配線長	延長コード 接続コード (別売)
	ELD2-2416P※3	ELD2-2435FD※3	ELD2475F※3	ELD2-24240FD※3		
FL-LED2-○○○○□□	14W	28W	52W※4	168W※4 (144W)	5m以内	HKJ
XC-LED○○○○□□						HKL
MC-LED3-○○○○□□					15m以内	HKHL
FXH-LED○○○○□□	13W	25.5W	52W※4	168W※4 (144W)	6m以内	HKL
FX50-LED○○○○□□						
FXS2-LED○○○○□□						
FXD-LED○○○○□□						

※1 LEDモジュール形式の○○○○は形式長さ、□□は色記号、仕様の詳細は各取扱説明書をご覧ください。

※2 最大使用W数は適合LEDモジュールと組合わせたときの値です。LEDモジュール入力電力の合計は最大使用W数以内で使用してください。

※3 周囲温度5℃～40℃の範囲で使用してください。ただし、ELD2-24240FDを天井裏など40℃近傍で使用する場合は()内の電力で使用してください。

※4 1系統に接続可能なLEDモジュール連結合計長はLEDモジュールにより異なります。各製品の取扱説明書をご覧ください。

3. 電源の供給および調光設定および電源の供給

- ・段調光設定スイッチを細いマイナスドライバー等(別途必要)を使用して希望の明るさに設定し、付属の目隠しシールで保護してください。

- ・全ての作業が終わりましたら電源を入れ、LEDモジュールが点灯することを確認してください。

【注意】電源を投入しても点灯までに1～2秒かかることがあります。

【注意】調光設定の際は電源を切り、段調光設定スイッチには無理な力を加えないでください。故障の原因となります。

